

ビート収穫 異次元の世界!!

680 ピタROW[®]

TURBO 680 ピタROW[®] るうくん



いつでも、どこでも、だれでも、

ピタ^ッと畦 (ROW) のど真ん中!!

ビート収穫の第一人者「ピタROWくん」シリーズは、自動操舵機構“ASCS (Automatic Steering Control System)”と自動畦合わせ機構“AROT (Automatic Row Tracer)”を装備しております。“ASCS”により、枕地を小さく旋回できるうえ、機体が流されやすい横傾斜のほ場での収穫や、土手や枕地などの端の1本の畦の収穫、土場からの脱出、バックも簡単に行えます。さらに、“AROT”により、掘り取り中の掘取口を常に畦に合わせてくれるので、後ろを気にせずトラクターを畦に合わせて走らせるだけで、ビートをこぼさず掘り取れます。ですから、ベテランオペレーターはもちろん、新オペレーターでも楽チンにビート収穫ができます。

新機能追加

新機能追加の“ASCS”、新規追加の「掘り取り深さ」・「ロータリーバケット停止」・「送りコンベヤ停止」検知機能で、より使いやすく、便利になり、オペレーターへの負担がさらに軽減されております。

ロータリーバケット周辺の改良

ロータリーバケットの大型化、周辺構造の変更により、肥大したビートが多いほ場、栽植密度が高いほ場など、多収量地帯における高速収穫作業に対応できるようになっております。



※「ピタROWくん」、「ASCS」、「AROT」は登録商標です。

新機能搭載 ASCS Automatic Steering Control System

従来の操作ボックスでタイヤ操作を行うとき、目的に合わせて【手動】・【半自動】・【全自動】と、都度、操作モードを切り替える必要がありました。

新機能搭載の操作ボックスでは、【全自動】モードのままでも【半自動】・【手動】操作が行えるので、ほとんどモードを切り替える必要がありません。

そのうえ、新たに追加の『中立復帰』ボタンを押せば、タイヤがどの方向に向いていても、モードに関係なく簡単に直進状態に戻すことができます。

さらに、【全自動】モード時のレバー操作は、【手動】モード時よりも細かな動作をするようになっているので、より微妙な角度調整ができるようになっております。



『中立復帰』ボタン

無段階に角度調整を行えるうえ、マグネット式取付面は、水平・垂直どちらにも対応しているため、最適な状態でトラクターにセットできます。しかも、付属の吸盤付操作ボックス台を使用すれば、ガラス面への取り付けもできます。そのうえ、従来の操作ボックスより、コンパクトで軽量です。

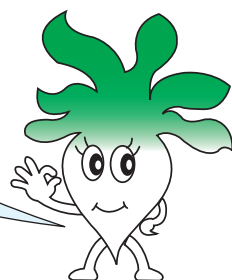


水平取付状態



垂直取付状態

タイヤの操作性が、より良くなった新機能搭載の操作ボックス。「ピタROWくん」の操作が、今まで以上に簡単にでき、操作ボックスを触る回数が一段と減るから、より掘り取り作業に専念できるね。



まるで逆位相タイプの4WS! 操作不要で枕地旋回!!

【全自動】モード

操作不要で枕地をらくらく旋回! ハーベスターのタイヤを切る、真っ直ぐに戻す、という作業は、ヒッチ部とタイヤ部のセンサーの連携プレーで自動的に行われます。

トラクターとハーベスターの角度を感知して、ハーベスターのタイヤを自動的に外側に向けてくれるので、ハーベスターは外へ外へとふくらみながらトラクターの通ったあとを追いかけようついていきます。ですから、トラクターは小さい旋回スペースでも真っ直ぐ畦に沿って入っていただけます。さらに、トラクターとハーベスターが真っ直ぐになると、ハーベスターのタイヤも直進状態に戻ります。



枕地旋回

傾斜地での横流れ防止

【全自動】・【手動】モード

ハーベスターのタイヤを山側に向けておけば、きつい横傾斜のほ場でも収穫作業が行えます。

特に、【全自動】モードでは、インチング操作ができるようになっているので、タイヤの微妙な角度調整が簡単に行えます。



横傾斜のほ場での収穫

レバー操作1回で土場のビートを踏まずに脱出

【全自動】・【半自動】モード

操作レバーを1回操作するだけでタイヤがいっぱい切れるので、土場のビートを踏まずに脱出できます。

※タイヤを直進状態へ戻すときもレバー操作で行えますが、「中立復帰」ボタンを使用すればより簡単に行えます。

堆積場から離れるときに、ハーベスターのタイヤを外側に切れれば、ハーベスターのタイヤで堆積場のビートを踏まず、逃げるように脱出できます。



土場からの脱出

端の1本もらくらく収穫

【手動】モード

ハーベスターを斜めにけん引できるので、端の1本もハーベスターで収穫できます。

※Lタイプではタッパーとコルターの右側、Rタイプはコルターの左側を使用しない状態にする必要があります。



枕地の端の1本の収穫

バックも右へ左へ自由自在

【全自動】・【手動】モード

タイヤを右へ左へと自由自在に操作できるので、ねらった方向へ簡単にバックできます。

※【全自動】の場合、トラクターのバックギヤの信号がハーベスターと連動していることが前提となります。

※「ピタROWくん」、「ASCS」は登録商標です。

安心して掘り取り作業に専念

《掘り取り深さ検知・停止検知》

新たに搭載の検知ボックスが、掘り取り作業中のハーベスターの掘り取り深さとロータリーバケット・送りコンベヤの停止、掘り取り開始時のコンベヤの回転状態を検知して、光や音で知らせてくれます。オペレーターは後ろを気にしなくても運転席でハーベスターの状態を確認できるので、安心して掘り取り作業に専念できます。

検知ボックス

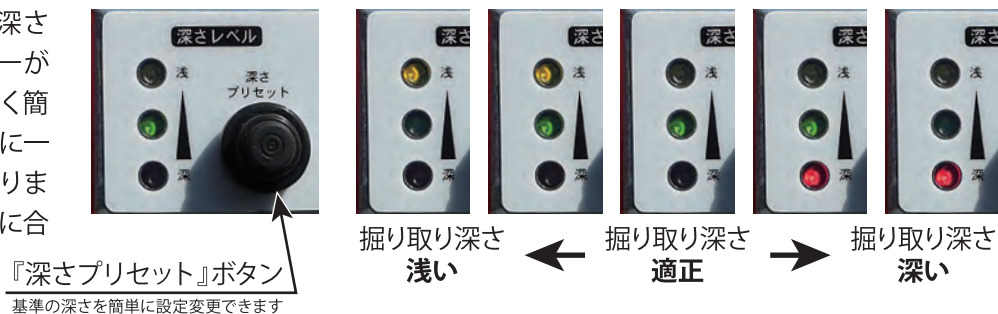


操作ボックスに取り付けた状態※

※あくまでも取り付けの一例です。
検知ボックスは、個別にお好みの見えやすい位置に取り付けることができます。また、取り付け専用の吸盤・プレートも付属しております。

掘り取り深さ検知

5段階のランプ点灯で掘り取り深さを知らせてくれるので、クリーナーがビートを叩く音や勦に頼ることなく簡単に掘り取り深さを察知でき、常に一定の深さを維持できるようになります。また、深さの基準はほ場条件に合わせて簡単に変更できます。



『深さプリセット』ボタン
基準の深さを簡単に設定変更できます

送りコンベヤ停止検知

ロータリーバケット停止検知

掘り取り作業中のロータリーバケットや送りコンベヤ部の停止は、オペレーターからは気付きづらいものです。しかし、検知ボックスが、これら2か所の回転を常に監視し、停止すると音とランプの点滅で知らせてくれます。すぐに停止を察知できるので、トラブルの早期解消につながります。



掘り取り開始時のPTO・コンベヤ回し忘れ検知

PTOやコンベヤが回っていないのに掘り取りを開始してしまうというミスを防いでくれます。PTOが回っていなかったり、コンベヤが回っていなかったりした状態のまま、掘り取りを開始してしまうと、音とランプの点滅で知らせてくれるので、回し忘れをすぐに察知できます。



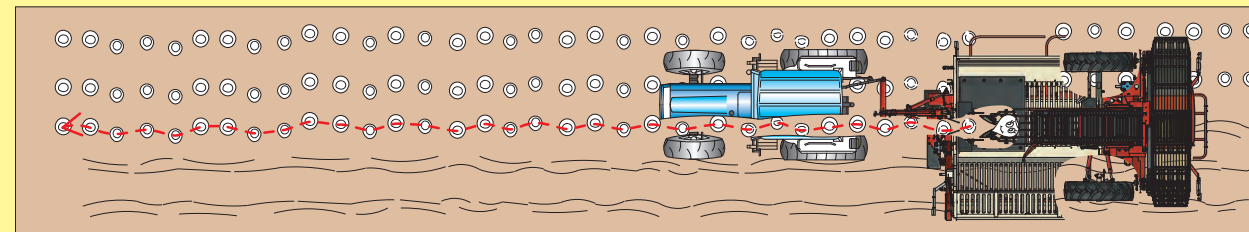
AROT Automatic Row Tracer

— 確実なビート収穫



掘り取り作業中は常に畦のど真ん中! 畦合わせ操作不要!!

畦合わせセンサーが常にビートの列を検知し、掘取口が畦の真ん中にくるように合わせてくれるので、オペレーターは後ろを気にせずトラクターを畦に沿って走らせるだけでビートをらくらく収穫。



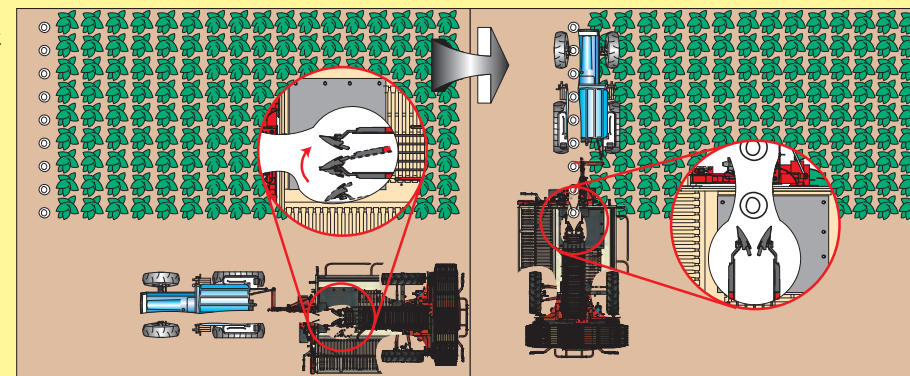
AROT未搭載機だと、オペレーターはトラクターをビートの列に合わせて走らせながら、ハーベスターの掘取口をビートに合わせて合わせる必要があります。常に前後を確認しつつトラクターを運転するには技術と集中力が必要で、身体的・精神的負担は非常に大きなものです。AROT搭載機であれば、畦合わせセンサーがハーベスターの掘取口を常にビートの列に合わせてくれるので、オペレーターは後ろを気にせず、前を見てトラクターをビートの列に合わせて走らせることに集中でき、身体的・精神的負担は非常に軽減されます。



旋回中に掘取口を自動修正

掘り取り終了後の掘取口の位置が自動修正されるので、つぎの畦に入ると掘取口が畦に合っています。

トラクターのローリンクを上げると「ACTRES (Auto Center Return System)」が掘取口のズレを検知し、中立位置に自動修正してくれます。ASCsの機能を使って枕地を小さく旋回してつぎの畦に真っ直ぐ入れれば、掘取口は既に畦に合っているので、すぐに掘り取りを開始できます。

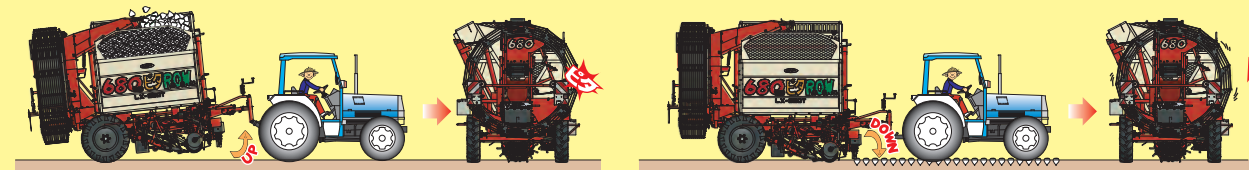


コンベヤのON・OFF操作は一切不要

掘り取り終了・開始を検知して、コンベヤを自動的に停止・回転させます。

<掘り取り終了後>

<掘り取り開始>



ローリンクを上げると…コンベヤが自動的に停止

ローリンクを下げると…コンベヤが自動的に回転

AROT未搭載機だと、コンベヤを回す・止める操作はオペレーターが操作ボックスで行う必要があり、コンベヤの止め忘れや、掘り取り開始直前の回し忘れが起きることがあります。AROT搭載機であれば、「COOS (Conveyor On Off System)」が掘り取り終了・開始を検知し、コンベヤを止めたり回したりしてくれるので、コンベヤを回す・止めるといった煩わしい操作の必要がありません。

※「AROT」、「ASCs」、「COOS」は登録商標です。

より**高速!** より**確実!!** より**快適!!!**

茎葉、土砂分離性能をしっかりと継承、さらに土砂の付着も軽減!!

内部構造を見直すことで高速作業でも回転部の耐久性が向上し、タッピングされた茎葉、ビート頭部に残った茎葉もしっかりとクリーニングする「調整自在前クリーナー 2×8 (①)」。耐久性に優れた15インチウェーブコルターとダブルコンベヤによりスムーズにビートを飲み込む掘取口 (②)。耐磨耗、耐久性に優れ、浅く掘れるのでけん引抵抗も小さい「浅軽フレキシブルショベル (③)」。第1コンベヤ部で土砂・茎葉の量を大幅に削減する「斜カットレール&丸曲げ (マルマゲ) フレーム (④)」。土砂や茎葉をしっかりと後部へ排出する「パフォーマンスロッド・ドロッド付第2コンベヤ (⑤)」。仕切り板の穴が大きく、湿った土の付着が少ない「プレスケルトンロータリーバケット (⑥)」。これらの連携により土砂・茎葉分離性能は抜群で、タンクに運ばれる量も少ないという性能はしっかりと継承しております。

さらに、『680&433 TURBO ピタROWくん』では、タンク排出側の格子部の面積拡大とエクステンション (あおり) に穴が追加されており (⑦)、タンク内部への土砂の付着が軽減され、より安心してダンプアップ作業ができます。



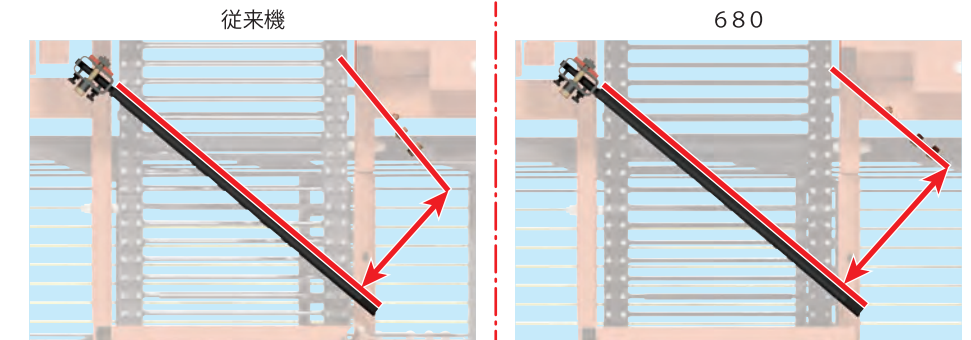
680 TURBO ピタROW[®] 多収量地帯での高速作業・高能率化を実現

★多収量地帯における高速作業に適したコンベヤ速度

第1コンベヤの速度見直しにより、肥大したビートが多いほ場や密植してビートの株数が多いほ場など、多収量地帯における収穫でも、スムーズにビートが掘り上げられます。

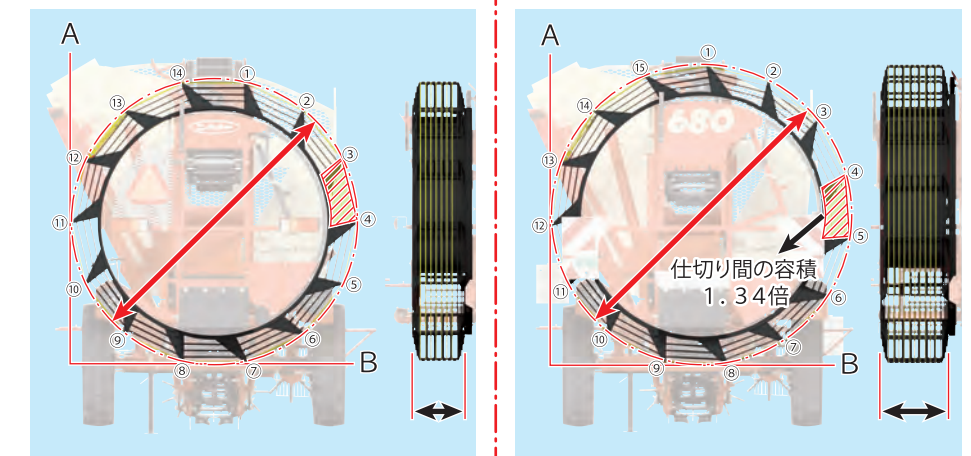
★第2コンベヤからロータリーバケットへスムーズに運搬

第2コンベヤからロータリーバケットへの排出スペースが広くなり、ビートがよりスムーズに運ばれるようになっております。



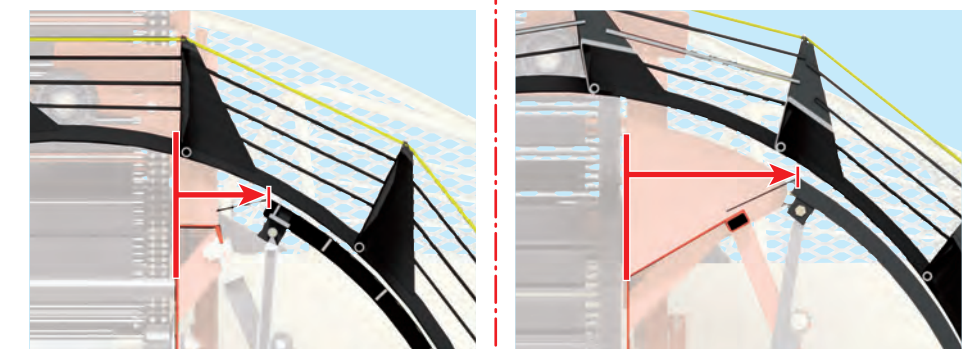
★大径・ワイドプレスケルトンロータリーバケット

プレスケルトンロータリーバケットの幅が広く、大径になり、約1.34倍に仕切り間の容量が増量され、多収量地帯のビートでも容積に余裕ができております。なお、ロータリーバケットのダンプ排出側の位置 (ラインA) と地上高 (ラインB) は従来と変わらないので、今までと同様の感覚でダンプアップができます。



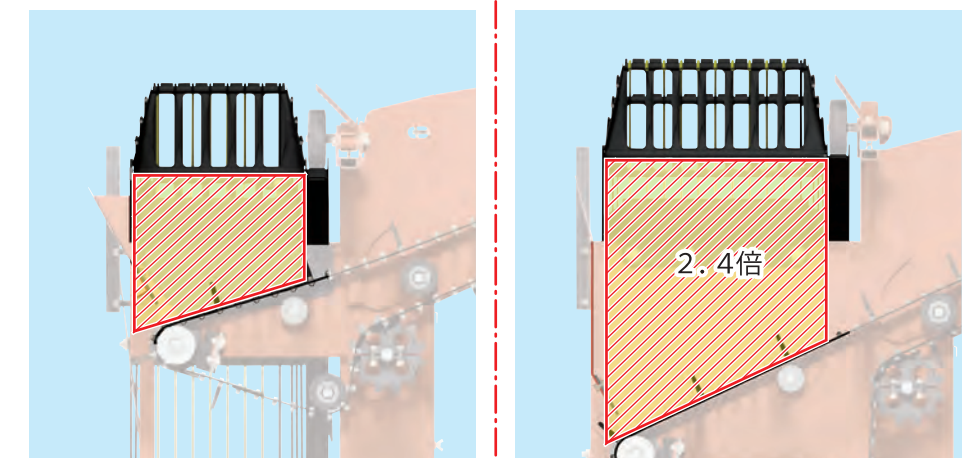
★ロータリーバケットから送りコンベヤへスムーズに運搬

プレスケルトンロータリーバケットから送りコンベヤにビートが落ちるタイミングが早くなり、ビートが送りコンベヤを通り過ぎることがなくなっております。



★送りコンベヤのビート落下部の容積増量

プレスケルトンロータリーバケットから送りコンベヤ部へとビートが落下する場所の容積が約2.4倍に増え、ロータリーバケットから大量のビートが運ばれてきても、ビートが送りコンベヤにスムーズに落下し、さらに、タンクへと運搬されるようになっております。



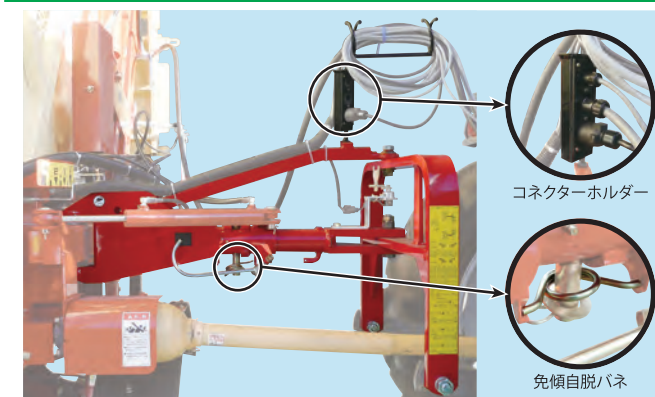
※「浅軽」、「斜カットレール」、「マルマゲ」、「プレスケルトン」は登録商標です。

ノンストップ高速作業を 強力サポート



さまざまなトラクターにマッチング

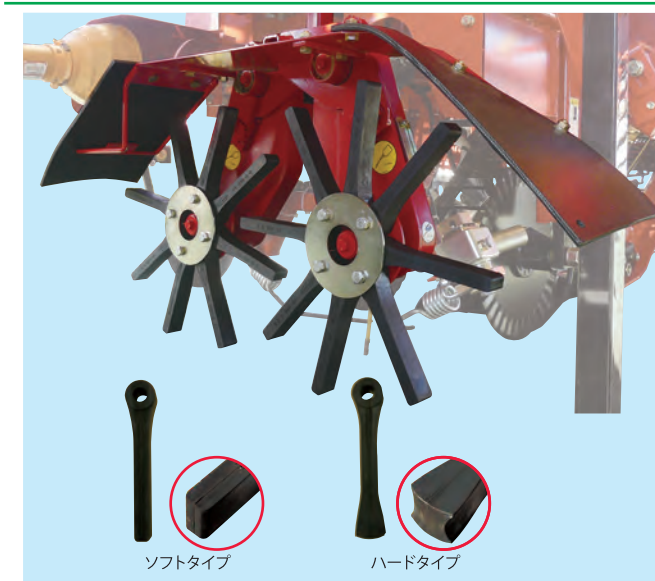
●免傾自脱バネ付長さ調整式ヒッチ (特許)



トラクターによってローリンクの長さが異なるため、ヒッチの長さも変える必要がありますが、使用するトラクターに合わせて簡単に調整することができます。また、「免傾自脱バネ」がドローバーを水平に保つので、トラクターへの取り付けも簡単に行えます。そのうえ、ハーベスターの駆動に不可欠な広角ジョイントを一緒に格納できる「PTOジョイントハンガー」や、操作ボックスなどのコネクターやケーブル、油圧ホースを収納できる「コネクターホルダー付きケーブル・油圧ホースホルダー」も装備しております。

茎葉の量に合わせてしっかりとクリーニング

●調整自在前クリーナー 2×8 (特許・意匠)

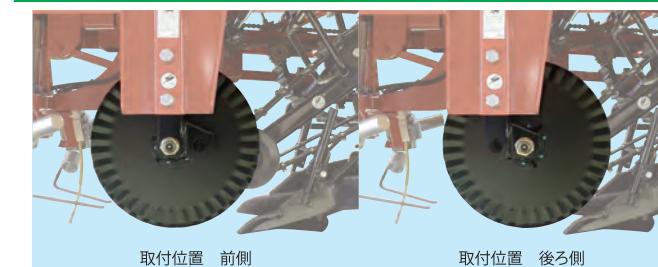


オートチェーンテンショナー内蔵のため、チェーンがたるむ心配はありません。また、クリーナーゴムの固定は、ボルト4本を外すだけで簡単に8本を交換できる、ドーナツ型座金を用いた固定方式です。なお、クリーナーゴムには、カドにちょっとだけ丸みをつけてビートをいたわりながら茎葉処理をするソフトタイプと、先端部での威力を20%アップすることで茎葉処理能力が20%以上向上したハードタイプの2種類がございます。8本中の4本をハードタイプ、4本をソフトタイプにするなど、組み合わせての使用もできるので、品種(茎葉の量)やタッピング状態、ほ場条件などに合わせてセットできます。

	ソフトタイプ	ハードタイプ
茎葉が少ない	○	○
茎葉が多い	△	○
ビートがガラガラしている	○	△
ビートがしっかりしている	○	○
頭部の茎葉をそぎ落とす	△	◎

ほ場に合わせてコルター位置を変更

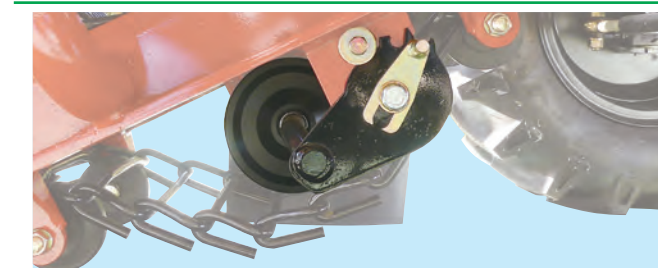
●オフセットウェーブコルター (特許)



掘り取り部の土砂抜けが悪い粘土地などでは、前側の取付位置。コルターとショベルの間から掘り上げたビートがこぼれ落ちる場合は、後ろ側の取付位置。ほ場や作業速度などの条件に応じて、コルターの取付位置を変えることができます。

簡単調整…最適なテンション効果を提供

●センターサポートイージーテンショナー



大きなローラーが、ロッドチェーンの中央部で最適なテンション効果を発揮します。テンション位置の変更方法が、ボルトの抜き差しによる方法から、支点ボルトを緩めてテンション止め金具をずらす方法へと変更されておりますので、飲み込み性能を悪くするロッドチェーンの緩みを、ボルトの抜き差しをすることなく、簡単に調整できるようになっております。

ロータリーバケットのスリップ軽減に貢献

●トルクアジャスター



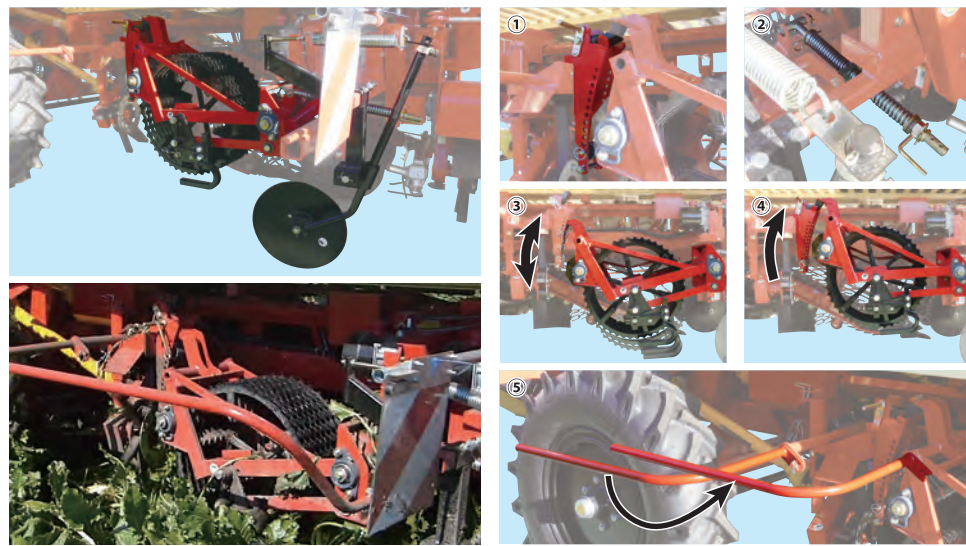
ロータリーバケットの駆動輪の内側から押さえつけるローラーの圧力を変えることで、単純な2WD方式より3~4倍の伝達トルクを伝えることができ、ロータリーバケットのスリップを軽減することができます。

※「免傾自脱」、「センターサポートイージーテンショナー」は登録商標です。

浮かせて薄切り 理想のタッピング



● UU (Ukasete Usugiri) 機構付高精度タッパー (特許)



平成29年までのタッパーとUU機構付高精度タッパーを比較



<平成29年までのタッパー>
ビートの高低にフィーラーホイールが追従するため、フィーラーホイールの上下動が大きく、また、バネによる圧力調整も困難です。

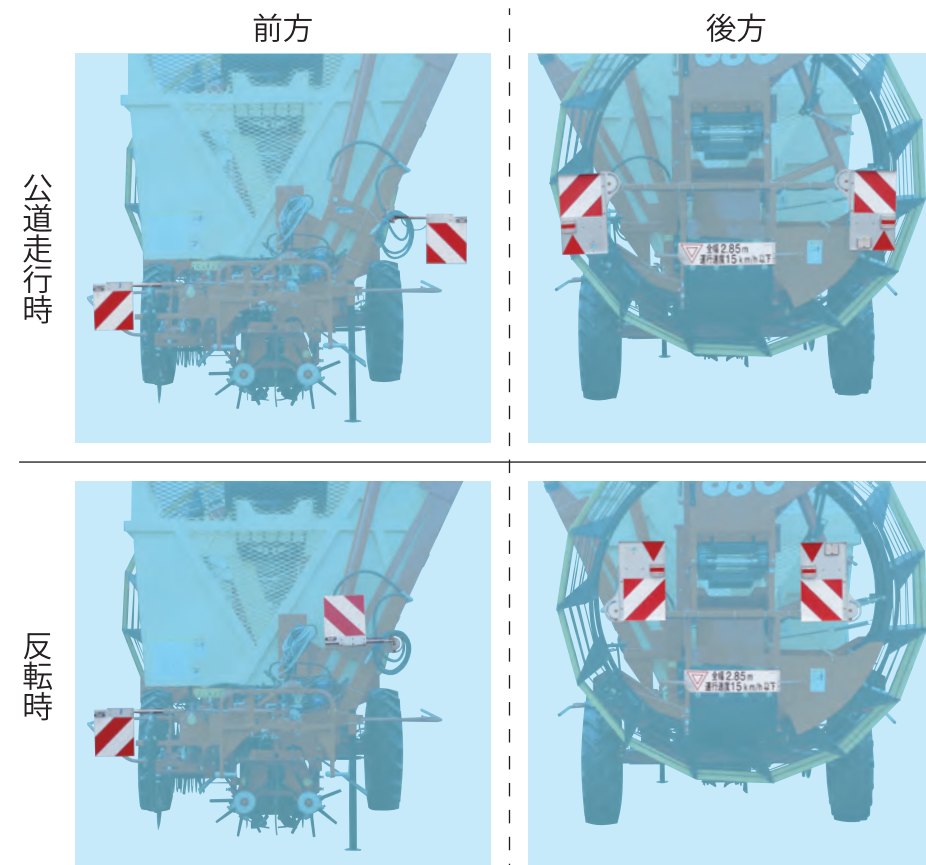
<UU機構付高精度タッパー>
下限位置とバネの圧力調整が容易なため、フィーラーホイールの上下動を小さくでき、宙吊りのようなビートより浮かせるセッティングもできます。

ビートのトップを薄く切りたいがフィーラーホイールの高さを思うように調整できない、バネによる切り厚さ調整が難しい、理想の薄切りになかなかならない、タッパー付ビートハーベスターにあるこれらの問題を解消してくれるのが、この『UU機構付高精度タッパー』です。独自のUU機構により、タッパーの下限位置を12段階に設定でき(①)、フィーラーホイールをビートより浮かせる宙吊りのようなセッティングが簡単に行えるうえ、バネによる切り厚さ調整も簡単に行えます(②)。ですから、フィーラーホイールの無駄な上下動を最小限に抑えることができ、理想の薄切り、お好みのタッピング厚さに簡単に調整することができます。そのうえ、タッパーの位置調整(③)や使用しない状態にする場合(④)も、付属の安全ガードを専用工具として使用できるので(⑤)、その場で簡単に変更することができます。駆動方式などは従来のそのままに、理想の薄切りを追求した高精度のタッパーです。

安心・安全な公道走行・収穫作業



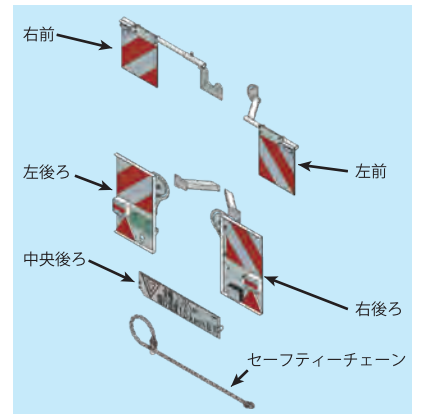
● 公道走行対応キット



所定の手続きをとれば、トラクターに農業作業機械を装着して公道走行をすることができます。ピタROWくんも公道走行対応キット※1を標準で装着しておりますが、反転が可能なため作業やメンテナンスの邪魔にならない親切設計となっております。また、トラクターのバック信号に連動してバックブザーが鳴るようになっておりますので、作業時などでバックをするときに、周囲へ注意喚起をすることができます※2。

※1：ヒッチ部に取り付けるセーフティーチェーンも含まれます。

※2：トラクターのコネクター部にバックの配線がされていることが前提となります。



図はLタイプ用

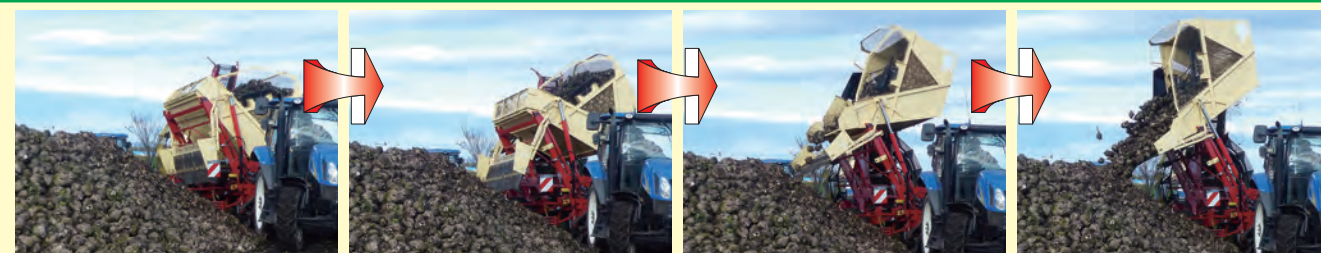
※「ピタROWくん」は登録商標です。

土場に降ろすビートを見事な連携でやさしくまもる いたわりバン & ふまんガード



やさしく、高く積み上げます。

●いたわりバン



土場にビートを荷降ろしをするときの落差を軽減し、ビートへのショックをやわらげつつ、高い山を形成します。しかも、ゴムを多用した本格派仕様です。そのうえ、タンクとの“連動”⇄“固定”の切り替えは、レバー操作で簡単に行えます。



土場のビートを踏まずに脱出

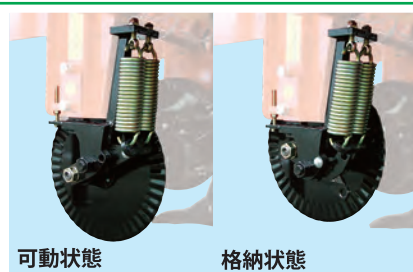
●ふまんガード (特許)



土場にビートを降ろしてから脱出するとき、ハーベスターのタイヤで大切なビートを踏んでしまう、せっかく一生懸命育てたビートが土場に埋もれてしまう…、割れてしまう…、そんな不満を解消してくれます。タンクを上げると下がり、下げると上がる…、シンプルだけど画期的なアイテムです。非常に丈夫ですが、土場に降ろしたビートを踏まないようやさしくいたわります。しかも、ガード本体はハーベスターより外に出ないので、タンクに連動のままでもダンブ受けができますが、ピンの差し替えで簡単に“連動”⇄“固定”の切り替えが行えます。さらに、ガード本体は、前方の開閉のほか、水平にも開閉できるので、掘取口周辺のグリースアップやロッドチェーンの張り調整、掃除の際に邪魔になりません。

石れき地帯の強い味方

●DSSA (Dual Spring Shock Absorb) コルター



石れき地帯特有の“石でコルターが割れる”という悩みを解消してくれます。計算し尽くされた2本のバネとリンク機構により、どんなに硬い畑でもしっかりと土を切り、石がある場合のみ、衝撃から逃げてコルターを護ります。また、端の1本の収穫のときは、ロックボルトを緩めることなく、ピン1本を差し替えるだけで、簡単にコルターを可動状態から格納状態に切り替えることができる親切設計となっております。

重粘土地で一層の土砂分離

●ローラーデフレクター



重粘土地帯でより一層の土砂分離・茎葉処理能力を発揮いたします。高速回転のローラーと、「パフォーマンスロッド・ドロッダ付第2コンベヤ」とのコンビネーションで、強制的に土砂分離・茎葉処理を行います。また、ローラーにはゴムを焼き付けているので、ビートへのいたわりもバッチリです。

茎葉が多いビートに最適

●サイドペアクリーナー 2×6 (特許)



掘り取る前のビートの茎葉処理不足は、飲み込み不良の原因となります。サイドシングルクリーナーよりもクリーナーゴムが4本多い12本のため、つぎに掘り取る畦のビートの茎葉をしっかりクリーニングすることができるので、掘り取る時に茎葉が気になりません。茎葉の量が多い品種のビートでもヘッチャラです。

※「いたわり」、「ふまん」、「DSSA」は登録商標です。

ピタROW
ろろくん シリーズ

ニチノー LX-680T
左ダンプ式、タッパー付



- 主な装備
 ●7.7m³タンク ●AROT ●ASCS ●SFIA式畦合わせセンサー ●ACTRES ●COOS ●コンベヤクラッチ ●超大径20インチラグタイヤ ●調整自在前クリーナー 2×8 ●トルクアジャスター付大径・ワイドプレスケルトンロータリーバケット ●UU機構付高精度タッパー ●公道走行対応キット

ニチノー RX-680
右ダンプ式、タッパー無



- 主な装備
 ●7.7m³タンク ●AROT ●ASCS ●SFIA式畦合わせセンサー ●ACTRES ●COOS ●コンベヤクラッチ ●超大径20インチラグタイヤ ●調整自在前クリーナー 2×8 ●トルクアジャスター付大径・ワイドプレスケルトンロータリーバケット ●公道走行対応キット

ニチノー LX-433T
左ダンプ式、タッパー付



- 主な装備
 ●4.5m³タンク ●AROT ●ASCS ●SFIA式畦合わせセンサー ●ACTRES ●COOS ●コンベヤクラッチ ●超大径20インチラグタイヤ ●調整自在前クリーナー 2×8 ●トルクアジャスター付プレスケルトンロータリーバケット ●UU機構付高精度タッパー ●公道走行対応キット

ニチノー RX-433
右ダンプ式、タッパー無



- 主な装備
 ●4.5m³タンク ●AROT ●ASCS ●SFIA式畦合わせセンサー ●ACTRES ●COOS ●コンベヤクラッチ ●超大径20インチラグタイヤ ●調整自在前クリーナー 2×8 ●トルクアジャスター付プレスケルトンロータリーバケット ●公道走行対応キット

※「ピタROWくん」、「AROT」、「ASCS」、「COOS」、「プレスケルトン」は登録商標です。

■ 装備一覧

●=標準装備
△=注文装備(別途料金が発生いたします)

	LX-680T	RX-680	LX-433T	RX-433
■ ヒッチ系統				
免傾自脱バネ付長さ調整式ヒッチ(先端スラストメタル付)	●	●	●	●
ケーブル・油圧ホースホルダー(コネクターホルダー付)	●	●	●	●
P T Oジョイントハンガー	●	●	●	●
■ 動力伝達系統				
P T O広角ジョイント	●	●	●	●
安全クラッチ付ジョイント	●	●	●	●
コンベヤクラッチ(アンローディングセンサー付)	●	●	●	●
ワンタッチ注油口	●	●	●	●
■ 掘り取り系統				
浅軽フレキシブルシヨベル	●	●	●	●
リジッドコルター(15インチ)	●	●	●	●
D S S Aコルター(15インチ)	△	△	△	△
斜カットレール&丸曲げ(マルマゲ)フレーム	●	●	●	●
■ コンベヤ系統				
ワンタッチ取り外し式掘取コンベヤガード	●	●	●	●
ロッドチェーン・センターサポートイージーテンショナー	●	●	●	●
コンベヤ磨耗軽減装置	●	●	●	●
フローティングサポート補助コンベヤ(オートテンショナー付)	●	●	●	●
パフォーマンスロッド・ドロッダ付第2コンベヤ	●	●	●	●
片持ち式いたわり格子ロッドデフレクター	●	●	●	●
ローラーデフレクター	△	△	△	△
大径・ワイドプレスケルトンロータリーバケット(トルクアジャスター・脱落防止装置付)	●	●	●	●
プレスケルトンロータリーバケット(トルクアジャスター・脱落防止装置付)	●	●	●	●
ナイスキャッチプレート	●	●	●	●
フルフローティングキャッチングプレート(スタッフィングラバープレート付)	●	●	●	●
送りコンベヤ石抜きロッド	●	●	●	●
■ クリーナー系統				
調整自在前クリーナー 2×8(オートチェーンテンショナー付)	●	●	●	●
サイドシングルクリーナー	●	●	●	●
クリーナーゴム(ソフト)	●	●	●	●
クリーナーゴム(ハード)	△	△	△	△
サイドペアクリーナー 2×6	●	●	●	●
■ タッパー系統				
高精度タッパー	●	●	●	●
U U機構	●	●	●	●
安全クラッチ装置	●	●	●	●
後期用ナイフシステム	●	●	●	●
ディスクコルター(14インチ)	●	●	●	●
タッピングナイフ(2枚)	●	●	●	●
■ 足廻り系統				
超大径20インチラグタイヤ	●	●	●	●
■ 電気系統				
小型軽量・取付角度自在操作ボックス(マグネット付)	●	●	●	●
検知ボックス(マグネット付)	●	●	●	●
ASCS	●	●	●	●
AROT	●	●	●	●
ACTRES	●	●	●	●
COOS	●	●	●	●
■ タンク系統				
大型ハイダンブタンク	●	●	●	●
部分ブラックアウトメッシュタンク	●	●	●	●
ダンブ自動折たたみ式エクステンション	●	●	●	●
オートマチックシャッター	●	●	●	●
いたわりネット・いたわりマット	●	●	●	●
いたわりバン	△	△	△	△
ふまんガード	△	△	△	△
■ 付属品・その他				
工具箱・標準工具	●	●	●	●
取扱説明書	●	●	●	●
駐車スタンド・駐車ブレーキ(輪止め式)	●	●	●	●
公道走行対応キット	●	●	●	●

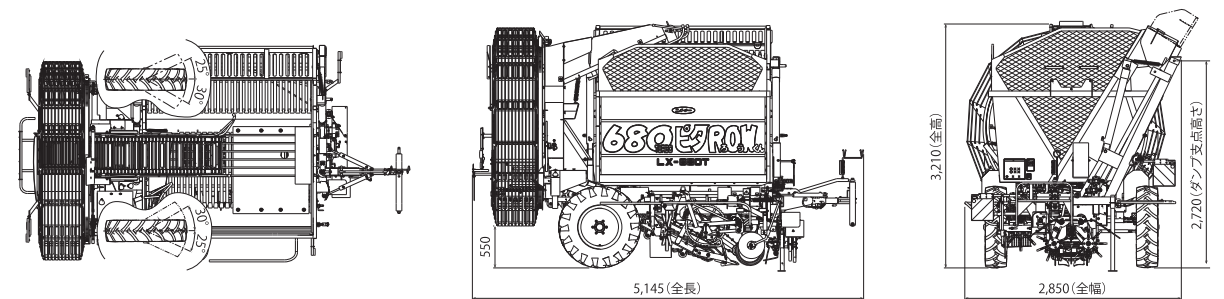
■ 主要諸元

		ビートハーベスター ピタROWくん			
品名		ニチノ- L X-6 8 0 T			
愛称		ニチノ- R X-6 8 0		ニチノ- L X-4 3 3 T	
型式		ニチノ- R X-4 3 3		ニチノ- R X-4 3 3	
規格		1 畦			
適応トラクター(kW(PS)以上)		51{70}		44{60}	
カテゴリ		II			
装着方法		トラクターけん引式			
全長(mm)		5,145			
全幅(mm)		2,850	2,920	2,810	2,880
全高(mm)		3,210		3,030	
重量(kg)		2,935	2,775	2,585	2,425
作業畦幅(mm)		600~660,690	600~690	600~660,690	600~690
タッピング機構		フィーラーホイール形式		スケルトンタイプ	
		フィーラーホイール幅×直径(mm)		246×556	
		スクレッパー形式		多角形回転板式	
		動力源		右タイヤ	
茎葉処理機構		サイドシングルクリーナー*1+調整自在前クリーナー 2×8(オートチェーンテンショナー付)			
掘り取り機構		2ポイントシヨベル			
畦合わせ機構		AROT			
ステアリング機構		ASCS			
使用電源		DC 12ボルト			
掘り取りコンベヤ		センターサポートイージーテンショナー付ロッドチェーン+補助コンベヤ			
上昇コンベヤ		トルクアジャスター付プレスケルトンロータリーバケット+送りコンベヤ			
排出機構		左ダンブ	右ダンブ	左ダンブ	右ダンブ
タンク容量(m³)		7.7		4.5	
ダンブ支点高さ(mm)		2,720		2,660	
満タン排出時所要油圧(MPa(kgf/cm²))		16{160}		15{150}	
ダンブアップ所要時間*2(sec)		12.1		10.0	
タイヤ		サイズ		10.00-20 10PR	
		空気圧(kPa(kgf/cm²))		290{3.0} / ~15.8	
作業速度*3(km/h)		~15.8		~15.1	
作業能率*4(a/h)(効率*3)		~68{65%}		~50{50%}	

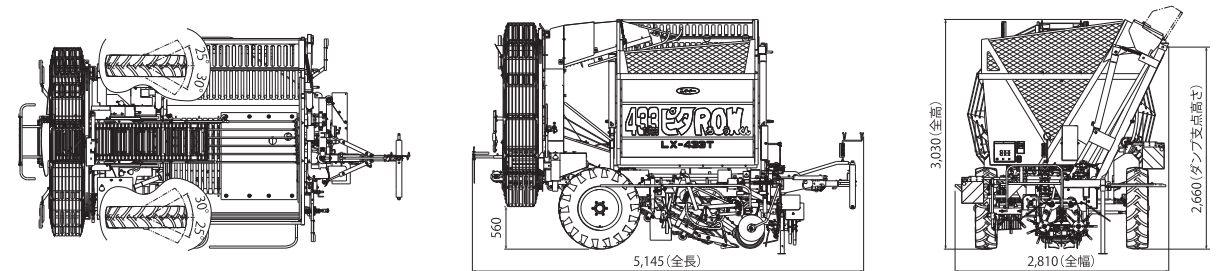
*1: Rタイプは、サイドペアクリーナー 2×6が注文装備です。*2: トラクター油圧吐出量が毎分3.5リットルのときの理論値であり、トラクターの種類によって変化いたします。*3: 作業条件、現場条件などの条件により変化いたします。*4: 畦幅660mm、設定作業効率時の理論値であり、条件により変化いたします。

■ 寸法図

ニチノ- LX-680T



ニチノ- LX-433T



※「ピタROWくん」、「免傾自脱」、「浅軽」、「DSSA」、「斜カットレール」、「マルマゲ」、「センターサポートイージーテンショナー」、「プレスケルトン」、「ASCS」、「AROT」、「COOS」、「いたわり」、「ふまん」は登録商標です。